

【北方町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒が情報を主体的にとらえながら、何が重要かを考え、他者と協働し、新たな価値を創造する為に必要な情報活用能力を育成する。そのために1人1台端末をはじめとするICT環境を積極的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させることで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期では、教育課内にICT教育推進リーダーを置き、北方町学園構想と合わせて無線ネットワーク環境の整備、端末活用ガイドブックの作成、運用方法策定等、GIGA端末を新しい文房具として活用を進めてきた。各校にICT教育推進委員を置き、事例研究を進めているほか、令和5年度からは外部有識者にICT教育推進アドバイザーを委嘱し、ICT教育推進部会において意見をいただきながらより一層の端末活用を推進している。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利用により「個別最適な学び」の充実を図る。その際に、ICTを活用し学習履歴や生徒指導上のデータを利活用することで一人一人の児童生徒に合わせた指導の個別化を進めるとともに、一人一人の児童生徒の興味・関心や意欲に応じた学習活動の機会を提供する学習の個別化を目指していくことが重要である。

また、1人1台端末の利活用により、個々の家庭状況や学校教育になじめない児童生徒に対する学びの機会の保障等、教育の機会均等を確保する。

利活用の推進に当たっては、子どもたち一人一人が情報を正しく理解し適切に判断し、行動できる力を持つことが必要である。端末の活用を進めるにあたっては学校だけではなく家庭での使い方も非常に重要であるため、情報モラルについて周知啓発をする。

1人1台端末の利活用方策を推進していくためにも端末を更新することにより、適切な児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持する。